

## 冷凍手術装置およびその操作方法

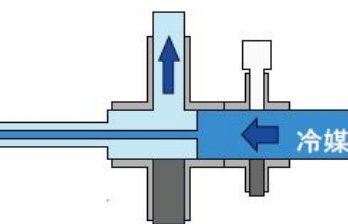
注射針程度の大きさ(直径0.55mm)！冷媒循環機構を持つ極細の凍結手術装置を実現！

### 概要

現在、クライオプローブと呼ばれる凍結手術用プローブを用いて患部を冷却し凍結させて壊死させるという凍結手術が行われており、出血や炎症反応、痛みが少なく、回復が早いといった様々な利点が挙げられている。

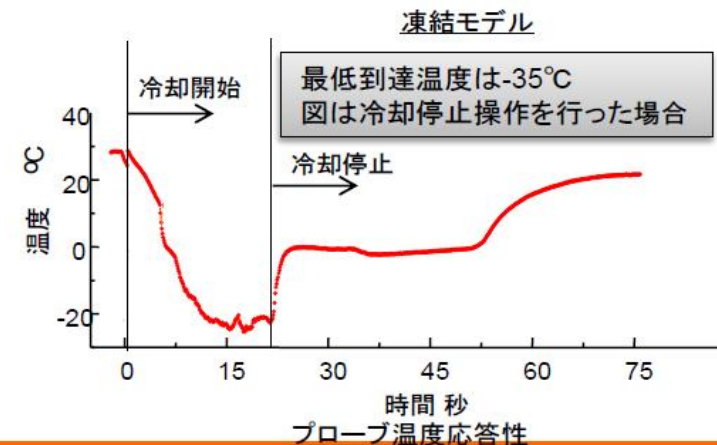
冷凍手術は、患部のみでの局所的な治療が可能であるが、近年、適用部位の多様化や生体侵襲の低減のため、クライオプローブのさらなる微小化が求められていた。

本発明は、従来品の1/3程度の細さとなる注射針程度の太さ(直径0.55mm)の極細針状体プローブを実現し、かつ冷媒の再利用を可能にする小型循環機構を持つ実用性、経済性に富んだ凍結手術装置である。



クライオプローブ模式図

連絡先



### 効果・応用例

初期がん治療

美容整形(しみ、ほくろ、いぼ、しわ除去など)

カテーテル・内視鏡と組み合わせた治療

### 特許データシート

特許番号(整理番号): 特許第5804414号(T11-032)

発明者: 岡島 淳之介 圓山重直

株式会社東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

お問い合わせは、[HP](#)からお願い致します。